

新規事業創出・事業拡大

事業を加速させる業務提携など、多彩な手法で新事業を創出。

ニコンでは、新規事業の創出および既存事業の拡大のために、革新的な技術を持つさまざまな企業との業務提携を積極的に行っています。工作機械のトップメーカーDMG森精機株式会社や世界唯一の光源技術を持つ株式会社XTIAとの業務提携もその一つ。2021年には米国で宇宙航空機部品の受託生産を行う米国のMorf3D Inc.を子会社化。さらに、ソフトバンク株式会社と360度追尾可能な光無線通信技術の合同実証を行い、世界で初めて成功しました。ニコンのコア技術と社外のリソースを組み合わせることで新たな事業の立ち上げを加速させています。そのほかにも、プライベートファンドでの投資活動やベンチャーキャピタルとの協業など、事業領域の拡大を目指し、新規事業の創出と育成を推進しています。



アライアンス

大学や他企業、外部団体など、社外との業務や資本の提携、共同研究、M&Aによる子会社化などのさまざまなアライアンスを構築。自社の技術だけでは足りない部分を補い、既存事業領域の周辺分野への進出や新規事業の獲得など、事業領域と事業規模の拡大を図っています。近年では、新規事業の柱として位置付けている材料加工事業をはじめ、成長領域や重点領域において、新たな業務提携を行うことで、新しい装置の開発や販売機会の拡大などを積極的に推進しています。

最新の例

- オーストリアのbionic surface technologies GmbH と戦略的共同開発契約
- 英国、Oxford Nanopore Technologies Limitedとの協業
- 米国、Morf3D Inc.に出資、子会社化
- ソフトバンク株式会社との合同実証
- 「大阪大学・ニコンイメージングセンター」を開設



プライベートファンド

ベンチャー企業に投資するプライベートファンドをSBIインベストメント株式会社と共同で設立し、同社が培ってきた成長分野への投資実績と経験を活用。日本および北米を中心に、欧州、アジア地域などにおいて、共に将来のストーリーを描ける可能性のあるベンチャー企業への投資を通じて、新規事業創出、育成の推進、強化に取り組んでいます。

投資分野

- 材料加工
- デジタルマニュファクチャリング
- ビジョンシステム / ロボット
- 光学
- センシング
- AI・画像処理
- IoT
- ヘルスケア



ベンチャーキャピタル（VC）との協業

新規事業の拡大に向けて、日欧米の複数のVCに出資。各VCからは多くのディール情報やトレンド情報を提供いただくとともに、定期的なミーティングで情報を交換。ベンチャービジネスの調査・比較、対象会社の事業調査や将来価値の推測算定など幅広いサポートを得ています。

主な出資先

- SBIインベストメント
- Geodesic Capital
- Beyond Next Ventures
- 500 Startups Japan など

